

事務事業評価シート

令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	21100	業務	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	担当班	クリーンセンター
基本施策		23	良質な環境の保全	根拠法令	一般	4	2	1		☒ 主な事業		
施策の展開		42	きれいなまちづくりの推進	戦略事業	204	ごみの収集・処理体制の充実				☐ 国土強靱化地域計画		
施策の展開				戦略事業						☐ 新市建設計画		
										☐ 定住自立圏構想		
										☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 43 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	市内より発生するごみ(一般廃棄物)をステーション方式により収集し、旭市クリーンセンターへ搬入している。又、直接搬入による受け入れ業務を行っている。このように集められたごみは、クリーンセンター内の焼却施設や資源化施設・粗大ごみ処理施設で処理し、処理後の焼却灰(燃え殻)などは、旭市グリーンパーク(最終処分場)へ埋め立て、最終処分をしている。これら一般廃棄物(ごみ)の収集・処理・施設の整備を行っている。	旧旭市、海上町、飯岡町、干潟町の構成により塵芥(ごみ)の共同処理を目的に開始された。 (合併により、新旭市に移管)	施設の老朽化に伴い、故障の発生と維持費の増加がみられる。ごみ処理広域化による新施設の稼働(平成33年度)まで、維持、運転管理等を行なう。	市民からの、ごみの収集や分別についての問い合わせが寄せられている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円								
1.共済費、賃金	40,147	臨時職員(作業員)賃金ほか								
2.需用費	109,213	指定ごみ袋購入ほか								
3.委託料	183,376	廃棄物収集運搬業務委託ほか								
4.工事請負費	211,617	焼却施設改修工事ほか								
5.その他	4,616	グリーンパークの土地借上料及び覆土用の山砂購入他								
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円								
1.国庫支出金	353	廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金								
2.都道府県支出金										
3.地方債										
4.その他	310,044	塵芥処理手数料、リサイクル資源売却収入								

		単位	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費	費目内訳	1. 共済費、賃金	千円	38,418	38,102	40,588	40,147	46,968
		2. 需用費	千円	94,806	108,953	116,415	109,213	133,085
		3. 委託料	千円	162,204	167,363	169,800	183,376	211,212
		4. 工事請負費	千円	153,840	180,962	189,435	211,617	112,860
		5. その他	千円	9,375	6,629	5,566	4,616	6,952
		事業費計 (A)	千円	458,643	502,009	521,804	548,969	511,077
財源	1. 国庫支出金	千円	350	330	323	353	495	
	2. 都道府県支出金	千円						
	3. 地方債	千円						
	4. その他	千円	292,139	302,073	294,424	310,044	277,740	
	5. 一般財源	千円	166,154	199,606	227,057	238,572	232,842	

前年度増減理由	容器包装プラスチック類の業務委託料の増及び施設の修繕工事に加えてグリーンパーク土壌埋設設置工事を施工したため
---------	--

従事職員数 常時 13 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

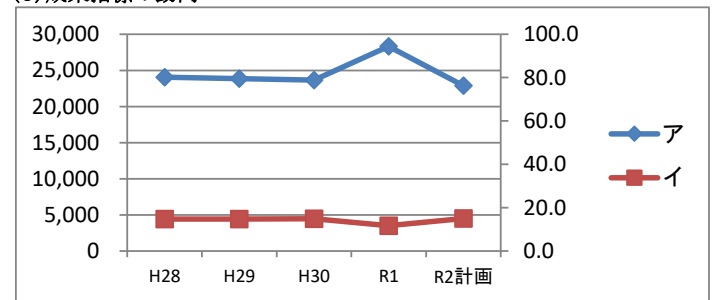
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
手段	1年度実績(1年度に行った主な活動)	ア	箇所	1,308	1,320	1,306	1,311	1,330
	・ゴミステーション収集業務 ・ごみの受け入れ業務 ・ごみ処理業務	イ						
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
目的	対象 市民・市内事業者(一般廃棄物排出事業者)	ア	t	24,064	23,841	23,663	28,323	22,886
	意図 家庭ごみ等を排出する環境を整え、ごみ処理を適正に処理できる状況とする。	イ	%	14.8	14.8	14.9	11.7	15.0
目的	対象 市民・市内事業者(一般廃棄物排出事業者)							
	意図 分別収集の徹底や、減量化とリサイクルの推進を図る							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通		⑤	
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上
	【コメント】(低下の場合、その理由)	成果指標ア	成果指標イ	向上	向上	向上
	③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	現状維持	見直し
		10月以降	令和3年4月から広域ごみ処理へ移行するので、3市で統一した業務内容を市民に周知する。	令和3年4月	拡大 縮小	廃止・休止 その他()